



城陽エコパートナー通信

Vol.10

発行日：平成 18 年(2006 年) 7 月 13 日
会員数：315 人(7 月 1 日現在)

編集・発行：城陽環境パートナーシップ会議
(事務局) Tel(56)4061 Fax (56)3999



平成 18 年度総会開催

平成 18 年 6 月 24 日 13:00 より城陽市福祉センターにおいて、約 40 人の参加のもと、城陽環境パートナーシップ会議の平成 18 年度総会が開催されました。

平成 17 年度の事業報告および決算報告、平成 18 年度の事業計画および予算の 4 議案が上程され、審議が進められました。

平成 17 年度の事業および決算報告では、スライドにより事業の一つ一つを見ながらの説明後、循環・地球環境の芦原部会長、生活・自然観察部会の岡田部会長より 1 年間を振り返る意味で総括を行っていただきました。竹内監事の監査報告後に採決を諮ったところ、満場一致でご承認をいただきました。

平成 18 年度の事業計画および予算(案)では、資料を見ながらの説明でしたが、早々に「異議なし!」のお声をいただき、満場一致のご承認をいただきました。

講演報 「京都府地球温暖化対策条例について」

第 2 部におきましては、今年 3 月に施行された「京都府地球温暖化防止条例」について、京都府地球温暖化対策プロジェクトの藤原さんよりご講演をいただき、条例について詳しくご説明をしていただきました。その後の質疑応答では、会場より相次いで質問が飛び出し、関心の高さを示していました。

城陽環境パートナーシップ会議も設立されて早や 2 年半が過ぎ、実質 3 年目を迎えるに至りました。当時は近隣市町村ではなかったパートナーシップスタイルの環境団体も、今では宇治田原町や京田辺市にも設立されております。

京都府南部地域の環境パートナーシップのパイオニアとして、今後益々我々が果たす役割は大きいと考えます。

今まで以上に会員の皆様のご支援やご協力をお願いいたします。



平成17年度収支決算

(単位：円)

1. 総括表

(円)

項 目	決 算 額	備 考
総 収 入	940,017	
総 支 出	631,237	
収 支 差 額	308,780	2006 年度へ繰越

2. 収 入

(円)

項 目	予算額	決算額	差額 -	備 考
(1)会 費	480,000	420,000	60,000	賛助会費 21 会員 × @20,000
(2)募金・寄付	12,000	7,540	4,460	4 月 1 日～3 月 31 日まで
(3)参加費収入	0	38,800	38,800	エコクッキング、エコバスツアー参加費
(4)補助金	150,000	150,000	0	京都府補助金「自然と歴史文化に学ぶみどりの体験活動支援事業」総事業費の 1/2 補助
(5)雑収入	1,000	6,804	5,804	普通預金利息、即売収益
(6)前期繰越金	316,000	316,873	873	
合 計	959,000	940,017	18,983	

3. 支 出

(円)

項 目	予算額	流用額	流用後予算額	決算額	差額 -	備考
(1)事業費	590,000	0	590,000	481,903	108,097	総会講師謝礼、エコバッグ代、花いっぱい運動に関する用具代、エコバスツアー交通費、環境活動啓発用パネル・パンフ送料等
(2)広報費	50,000	0	50,000	39,585	10,415	会報郵送代、自然観察会チラシ郵送代
(3)調査研究費	10,000	0	10,000	770	9,230	他団体より環境家計簿取り寄せ送料
(4)事務費	200,000	0	200,000	108,979	91,021	会議開催案内郵送代、会費振込手数料、通信切手代、事務消耗品等
(5)予備費	109,000	0	109,000	0	109,000	
合 計	959,000	0	959,000	631,237	327,763	

平成18年度事業計画

環境ビジョン	平成 18 年度の取組内容
生活 自然	身近な河川の観察会の開催 身近な河川の清掃活動の実施 動植物の観察会の開催 里山の観察会の開催 自然観察マップの作成
快適	花いっぱい運動の実施 街角安全探検の検討
循環	生ごみ処理機の普及・啓発 ごみの分別に関する学習会の開催 雨水利用に関する学習会の開催
参加	環境フォーラム・井戸端会議の開催 小学生を対象とした環境学習会の開催 エコバスツアーの開催 会報（エコパートナー通信）の発行
地球環境	環境家計簿改訂版の作成 環境家計簿の普及啓発

平成18年度収支予算

収入の部

単位：円

項 目	予 算 額	前年度予算額	対前年度比較	摘 要
1 会 費	420,000	480,000	60,000	賛助会費 @20,000×21 会員
2 募金収入	6,000	12,000	6,000	募金 @500×12月
3 補助金収入	0	150,000	150,000	
4 参加費収入	39,000	0	39,000	エコバスツアー、行事等の参加費
5 雑収入	10,000	1,000	9,000	受取利息、即売等の収益金
6 前期繰越額	308,000	316,000	8,000	前期繰越
収入合計（A）	783,000	959,000	176,000	

支出の部

単位：円

項 目	予 算 額	前年度予算額	対前年度比較	摘 要
1 事業費	500,000	590,000	90,000	講師謝礼、行事等会場使用料、事業開催にかかる消耗品
2 広報費	50,000	50,000	0	会報・事業案内チラシの郵送料、会報用紙代
3 調査研究費	5,000	10,000	5,000	書籍等購入代
4 事務費	200,000	200,000	0	会議用消耗品、事務消耗品、通信運搬費、会費振込手数料、封筒代
5 予備費	28,000	109,000	81,000	
支出合計（B）	783,000	959,000	176,000	
収支差額（A）-（B）	0	0	0	

エコバスツアー 夏休みスペシャル
南丹市八木バイオエコロジーセンター＆氷室の郷見学会

家畜ふん尿から排出されるメタンガスを大気中に放出せず、メタン発酵させることで「バイオガス」を発生させ、これを用いて発電を行うという環境にやさしい施設である八木バイオエコロジーセンターを見学します。さらに、八木町農村環境公園「氷室の郷」ではパン作りを体験します。地球温暖化や新エネルギーについて親子で考えてみませんか？ご参加をお待ちしております。

日 時 8月9日(水) 集合 9:20 解散 16:00

見学先 八木バイオエコロジーセンター

八木町農村環境公園「氷室の郷」

参加費 1000 円(昼食代、パン作り代含む)当日徴収します。

集合・解散場所 城陽市役所 南側駐車場

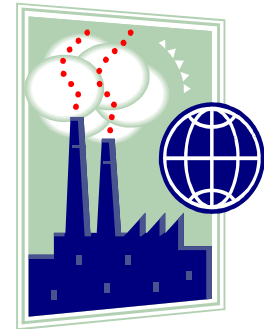
対 象 市内在住・在勤・在学者

小学生以下の方は保護者同伴でお申し込みください。

定 員 36 名(親子18組) 先着順

申し込み 事務局に7月25日までにお電話でお申し込みください。

持ち物 お茶・筆記用具・エプロン・三角巾(パン作りに着用)



部会に参加しませんか

■生活・自然部会

身近な河川や動植物、花いっぱい運動 など

■循環・地球環境部会

ごみの減量、太陽光発電、環境家計簿 など

開催日時：いずれも毎月第1・第3木曜日の午後7時～9時(変更の場合あり)

開催場所：市役所内会議室(変更の場合あり)

申し込み：参加を希望される方は、事務局までご連絡ください。



一緒にやってみませんか。
待ってま～す!

次の方・団体から賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました。

イズミヤ(株)大久保店、近畿砂利共同組合、京阪観光開発(株)東城陽ゴルフ倶楽部、サントリー食品工業(株)宇治川工場、(株)城南工建、城陽金融会、城陽市建設業協会、城陽市役所、城陽商工会議所、白鳥幼稚園、星和電機(株)、玉井開発、長池工業(株)、(株)長尾組、日本観光ゴルフ(株)城陽カントリー倶楽部、(株)平和堂アル・プラザ城陽、(株)ミズホ、森澤博光、(株)山岡製作所

平成18年6月末現在(五十音順・敬称略)